

宰相山

角屋

## 圓光寺だより

〒五四三・〇〇一三 大阪府大阪市天王寺区玉造本町一三・五

平成 年 月 号

No.

電話番号 〇六・六七六一・八二九三

Fax 〇六・六七六一・八二九六

明けましておめでとございます。本年も圓光寺よろしくお願ひします。圓光寺ホームページ始めました。

<https://osaka-enkouji.jimdofree.com/>

フェイスブックではコロナ、世界情勢、これらのお寺のこと発信しています。

今年最初にあるお寺の住職にお会いしてきました。それは寺報記事「親鸞さんにかえる」で書いた私の疑問と同じ考えの人だったからです。なおかつ世界情勢にも明るく、いろいろ表には出ない情報もお聞きできました。悲しいですが、本願寺も今の世界情勢に巻き込まれています。私としては「ウイズコロナ」とかいう世界計画に同調するような(何も世界情勢を考えていない)人ではない住職にめぐり逢い、話せて有意義な時間を過ごさせていただきました。

本願寺の歴史ですが、親鸞さん没後、教団を組織するうえで親鸞さんの教えとは変わってきています。旧仏教、時の権力者とうまく迫害されないようにしながらも、教団として大きくし内部には上下関係を作ってきました。教団内部でも派閥が出来上がり大きくは、空華学派、石泉学派の二大学派です。今は空華学派が主流で

石泉学派は排除されている現状です。本当の親鸞の教えは、親鸞自身が書いた「教行証書類」に書いているはずですが、今は教行証書類は重視されていません。

どこかに浄土があつて私たちをお任せすれば阿弥陀様が連れて行ってくれる。この濁世にまみれた娑婆世界から救済してくれる。念仏して向こうの世界でまた会いましょう。こんな感じとは親鸞さんの教えは違うんです。これが石泉学派の考えです。今の物理学知識もありグローバル時代に「浄土ってどこにあるん？」となるのは普通です。それではそっぽを向かれません。

昔は字も読めない仏教用語の概念などわからない人たちが大半でした。生きるのが精いっぱい農業者、漁業で暮らしている人たちです。そういう人たちに現在の「苦」の中で生きるための「善行方便」としての浄土です。仏教とは抜苦の教えです。仏陀もそれぞれの人に合わせた対機説法しました。それぞれの話は矛盾するところもあるけど、目の前の人の苦が抜けられないのです。親鸞も実は対機説法であつて原始仏教と矛盾しません。この現実世界で悟りを開く

教えです。

「往相還相」とは私たちは浄土に行つて、また現生に帰り清浄行の仏道に励むことです。しかし最近の法話は、還相の話はしないようです。石泉学派は教行証書類に忠実に親鸞さんの教えを学ぶのです。仏道とは生死一如を体得することであり、そのいずれにもとらわれないことを体得することである。

こんなグローバルな時代なのだから、政治、経済、歴史、哲学、物理化学、世界情勢も知識を持つたうえで生死という分断した思考(虚妄分別)から一如の智慧という真実の道を歩むのが現代の仏道です。

おすすめ本は信楽峻磨氏

「親鸞の真宗か蓮如の真宗か」

「親鸞はどこにいるのか」

世の中おかしいと思つた方？

圓光寺フェイスブックを見てください!!